



第 49 回 JSiSE 全国大会のご案内

担当者： 全国大会委員会

2024 年度全国大会の開催日・開催場所が決まりました。

開催日（予定）： 2024 年 8 月 27 日（火）～ 8 月 29 日（木）

開催場所（予定）： 明海大学（浦安キャンパス）

是非ご発表・ご参加をご検討ください。大会の詳細は、随時 Web サイト等でご案内いたします。

■ 会場外観



■ アクセス

<https://www.meikai.ac.jp/access/>

<最寄り駅まで>

- JR 東京駅～JR 新浦安駅まで京葉線で約 20 分
- 羽田空港～JR 新浦安駅までリムジンバスで約 30 分

<最寄り駅から明海大学まで>

- JR 新浦安駅から徒歩約 8 分



第 49 回（2024 年度）教育システム情報学会全国大会 企画セッション テーマ募集のご案内

教育システム情報学会 全国大会委員会
委員長 國宗 永佳

企画セッションは参加者にとって関心が高く、より詳細な研究テーマに焦点をあてたセッションです。以下のようにテーマを公募いたします。奮ってご応募ください。テーマが採用された方はオーガナイザになっていただき、発表募集の広報やプログラム作成、セッションの実施を行っていただきます。なお、お申し込みいただいた内容にしたがって全国大会委員会プログラム部会で審査をし、採否を決定させていただきますので、ご了承ください。

企画セッションの講演原稿のフォーマット、投稿方法、1 スロットあたりの発表数（3～4 件の発表で構成）、講演時間等は一般セッションと同じです。ただし、オーガナイザの裁量で 1 スロットにつき講演 1 件分を議論の時間にあてることができます（3 件の発表+議論とすることができます）。セッションの時間帯やスロット数は、大会プログラム作成時に全国大会委員会大会プログラム部会にて講演申込み数や全国大会全体の構成に応じて決定いたします。講演申込みは大会 Web の講演申込みサイトより、一般から公募いたします。また、企画セッションでの発表も大会奨励賞の対象となります。

企画セッションのテーマは一般セッションよりも特化したテーマに焦点があてられていることが望まれます。テーマご提案の際には、一般セッション講演募集用のカテゴリ表を参考にしてください。

■オーガナイザにご担当いただく事項

- 発表募集の広報（企画セッションの概要は全国大会 Web ページに掲載されます）
- 企画セッションのプログラム（発表順）の決定
発表申し込み数によっては、一部の発表を一般セッションに移動する必要があります。
その際、オーガナイザには一般セッションに移動する発表を決定していただきます。
- 座長の選定
原則としてオーガナイザが座長をご担当ください。セッションが複数になった場合は、各セッションの座長を異なるオーガナイザで担当していただきます。
- 当日のセッション運営

■お申し込み方法

以下の項目をご記入の上、全国大会委員会プログラム部会（taikai-pc-ml@jsise.org）宛まで電子メールにてお申し込みください。

※送信後に投稿が保留された旨のメールが自動的に届きます。それとは別に後日受付の連絡をさせていただきますので、お待ちください。

- テーマ（企画セッション名）
- 概要（400 文字程度）
- テーマが該当するカテゴリ、分野（カテゴリ表より選択、多くて 2～3 個を目安としてください）
- テーマが該当するキーワード（カテゴリ表中のキーワード）

- テーマ独自のキーワード
- オーガナイザ全員の氏名と所属、代表者の連絡先（電子メールアドレスなど）
※オーガナイザは教育システム情報学会会員に限ります。

■ 申込期限

2024年2月16日（金）（2024年2月23日（金）までに採録結果を通知いたします）

《カテゴリ表》

議論観点	カテゴリ	分野名 (発表時にはここだけ選択してもらいます プログラム編成においてセッション名として使います)	キーワード (分野選択時の参考にしてください。 ただし、各分野の発表はこれらに限るものではありません)
支援対象	設計	授業設計・インストラクショナルデザイン	授業研究, 学習理論, 教育方法, カリキュラム・デザイン, 授業評価, 授業実践, シラバス, 研修設計
		学習環境デザイン	デザイン研究, 学習科学
	教育・学習手法	遠隔教育	通信教育, 国際交流, 交流学習, 異文化交流
		ブレンディッド学習	反転授業, eラーニング授業利用
		連携型教育	小中連携, 中高連携, 高大連携, 大学間連携, 科目間連携, 地域連携, 産学連携
		協調学習	コミュニティ支援, コミュニケーション支援, グループ学習, ディスカッション支援
	分析・評価	アクティブラーニング	作問学習, PBL, クリッカー, アイデアソン, ハッカソン, ルーブリック, サービスラーニング, テキストコミュニケーション, 社会人基礎力, 反転授業, 体験学習
		学習者特性・行動分析	ポートフォリオ, アフェクティブラーニング, 質的分析, 学習履歴分析, レディネス, 生体情報, レスポンス分析, 教学インスティテュショナル・リサーチ(IR), 質問行動
	対象別教育	学習評価・アセスメント	リフレクション, ルーブリック, テスト理論, 質的評価, 適応型テスト, 数理モデル, ピアアセスメント, グループワーク評価, パフォーマンス評価, 項目反応理論, 所見による評価
		HRD・生涯学習	リカレント教育, 社会人教育, 企業内教育/研修, 異文化理解
		高等教育	キャリア教育, 質保証, リメディアル, 初年次教育, ファカルティ・ディベロップメント(FD), 研究活動支援, ティーチングポートフォリオ, チュータートレーニング, 教養教育, 教職課程
	領域別教育	初等中等教育	言語活動, 教科指導, 授業実践, 教師教育, 情報モラル, 一人一台タブレット環境
		プログラミング教育	アルゴリズム理解, ビジュアルプログラミング, プログラミング言語教育, オブジェクト指向教育, ロボットプログラミング, WebAPI
		情報技術教育	ネットワーク教育, データベース教育, 組み込みシステム教育, モデリング教育, システム要件定義, 技術者倫理教育, ソフトウェア開発教育, IoT
		語学教育	日本語学習, 外国語学習, 聴解学習, 発話学習, 作文教育, 読解教育, 語彙・単語学習, 文法教育, エッセイライティング, 例文検索
		教科教育	教科情報, 数学, 国語, 理科, 社会, 音楽, 美術, 技術・家庭科
		特別支援教育	インクルーシブ教育, LD, ADHD, 発達障害, 院内学級, 身体障害, 知的障害, 視覚障害, 言語障害
		スキル学習	身体知, 経験知, 学習スキル, メタ認知, 問題解決支援, 批判的思考, 自己調整学習
医療・看護・福祉教育		カウンセリング, ボランティア, 介護, 理学療法, 保育, 作業療法, スポーツ医学	
情報リテラシー		プレゼンテーション支援, コンピュータ操作, 情報倫理, セキュリティ, 情報モラル, 情報スキル, クラウドサービス活用	
防災教育		レジリエンス, リスクマネジメント, 災害情報, 意思決定, 災害心理, 疑似体験, 避難訓練, 災害アーカイブ	
技術	ICT活用	マルチメディア活用	映像・音声配信/収録/活用, 電子教科書, 電子黒板, プレゼンテーションドキュメント
		ソーシャルメディア活用	ソーシャルブックマーク, SNS, BLOG, マイクロBLOG, チャット
		デバイス活用	モバイル, タブレット, ユビキタス, ウェアラブル, ヒューマノイドロボット, IoT
	技術開発・運用	プラットフォーム活用	LMS, eポートフォリオ, CMS, テレビ会議システム, コンテンツ共有
		プラットフォーム開発	LMS, CMS, プラガイン, CSOL, eポートフォリオ, eテストング, API, データフォーマット, デバイス, テレビ会議システム, クラウド利用
		インフラストラクチャ	認証, ネットワーク構築, センサネットワーク, クラウド, セキュリティ, システム連携, 仮想化, データ運用管理, 教材データベース, BYOD
		コンテンツ作成支援	コンテンツ・オーサリング, カリキュラム・オーサリング, コンテンツ自動生成, SCORM, LOM, 問題作成支援
	先進的学習支援技術	先進的学習支援	AI(人工知能), アフェクティブコンピューティング, エージェント, 機械学習, 情報検索, 適応的支援, ナビゲーション支援, リフレクション支援, 情報推薦, ゲームフィケーション, 外在化支援, 抽象化支援, 知識マップ, 生成AI
		分析技術	テスト理論, データマイニング, ラーニングアナリティクス, ビッグデータ
		モデリング技術	メタ認知, 学習科学, 学習者モデル, 認知ツール, 数理モデル, ドメインモデリング
ユーザインタフェース		仮想現実(VR), 拡張現実(AR), HCI, 視線入力, ヘッドマウントディスプレイ(HMD), ジェスチャー入力, 3D, 可視化, センサーデバイス, 音声入力, シミュレーション, マイクロワールド, 擬人化技術, アウェアネス, テレイグジスタンス, 力覚情報, ヒューマノイドロボット	
その他	その他	その他	



2023 年度 第 6 回研究会 開催案内

担当者： 浅羽修丈（北九州市立大学），尾崎拓郎（大阪教育大学），鷹岡亮（山口大学），
永田奈央美（静岡産業大学），西端律子（畿央大学），長谷川理（武蔵野大学），
林雄介（広島大学），三井一希（山梨大学），森祥寛（金沢大学），山本樹（明海大学）

■ テーマ：

実社会や他校種との接続を意識したデータサイエンス教育／一般

■ 開催日時：

2024 年 3 月 10 日（日）

■ 開催場所：

山口大学 吉田キャンパス

https://www.yamaguchi-u.ac.jp/info/campus_map/access_yoshida_campus/index.html

※本研究会は対面のみの実施です。

■ 趣旨：

本年度第 6 回研究会は「実社会や他校種との接続を意識したデータサイエンス教育／一般」のテーマで実施いたします。

日本が実現を目指す Society 5.0 の社会では、社会全体で持続的に新たな価値を生み出すことが求められており、ひとりひとりが Society 5.0 の担い手として活躍できるように、初等中等教育の各段階から新たな価値創造をするための能力の育成が求められています。これは、内閣府が提示している「AI 戦略 2019」においても、デジタル社会の基礎知識（いわゆる「読み・書き・そろばん」的な素養）である「数理・データサイエンス・AI」に関する知識・技能、新たな社会の在り方や製品・サービスをデザインするために必要な基礎力など、持続可能な社会の創り手として必要な力を全ての国民が育み、社会のあらゆる分野で人材が活躍することを目指し、2025 年までに教育に各教育機関での教育目標が掲げられています。現行の学習指導要領においても、データサイエンス・AI の基礎となる数理分野での学習内容の充実が図られており、各学校種間での当該分野における連携の充実も求められているところです。

これらのことから、新たな価値創造をする人材育成のための「データサイエンス教育」について参加者の皆さんと考えていきたいと思えます。

■ 発表申込締切：

すでに締め切りました。多数のお申し込みをいただきありがとうございました。

■ 原稿提出締切：

2024 年 2 月 8 日（木）【延長いたしません】

■ 発表時間等：

発表時間は 25 分（発表 17 分，質疑 7 分，入れ替え 1 分）を予定しております。

■ 発表申込および研究会への参加方法：

研究発表および研究会参加には，研究報告の年間購読（4,000 円／年）または各回の研究報告の購入（1,000 円／回）が必要となります。ただし，聴講のみを希望する学生会員は研究報告を購入する必要はありません。

○発表者

発表申込および原稿提出は，下記「申込者ログイン」よりお願いします。

また，事前参加申込（研究報告の購入）は 2024 年 2 月 9 日 9 時に開始します。

開始時刻以降に，下記「申込者ログイン」から手続きしてください。

○聴講のみを希望する学生会員

聴講のみを希望する学生会員は，「申込者ログイン」での手続きは行わず，末尾の問い合わせ先まで直接メールでご連絡ください。

○上記以外の参加者

事前参加申込（研究報告の購入）は 2024 年 2 月 9 日 9 時に開始します。

開始時刻以降に，下記「申込者ログイン」から手続きしてください。

クレジットカード払いであれば当日まで事前参加申込が可能です。それ以外の支払い方法は 2024 年 3 月 2 日まで選ぶことができますが，支払期間内に入金しないと参加申込が確定となりません。支払期間は完了通知メールに記載されますので，必ずご確認をお願いいたします。

申込者ログイン：<https://iap-jp.org/jsise/course3/login.php>

※研究会申込システムの利用方法はこちら

講演申込・原稿投稿方法 <https://www.jsise.org/society/committee/pdf/manual.pdf>

○現地での参加申込

現地受付での参加申込はできません。参加を予定している方は必ず事前参加申込を行ってください。クレジットカード払いの場合は，当日でも事前参加申し込みが可能です。



2023 年度 特集論文研究会 講演募集

担当者： 学会誌編集委員会委員長 松浦 健二（徳島大学）

■ テーマ：
エビデンスに基づいた学習者中心の教育・学習支援

■ 開催日時：
2024 年 3 月 9 日（土）

■ 会場：
オンライン開催

■ 趣旨：

2020 年 3 月から感染が拡大した新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの教育機関で遠隔・オンライン教育が実施されました。同時に、学習管理システム（LMS）や e ポートフォリオの利用が進み、講義資料の閲覧履歴や小テストの解答履歴、レポート等の成果物に加え、講義中の映像や発話情報などのマルチモーダルな教育・学習データも蓄積されるようになりました。また、近年では、学習中の生体情報も比較的容易に取得できるようになり、これらの多種多様かつ膨大な教育・学習データを LRS (Learning Record Store) で一元管理し、学習者のために活用しようとする機運が高まっています。そこで、本特集号では、教育や学習の過程で収集されたデータを利用した学習者中心の教育・学習の支援に関する先進的な取り組みに関する論文を広く募集します。

■ 発表申込締切：
すでに締め切りました。多数のお申し込みをいただきありがとうございました。

■ 原稿提出締切：
2024 年 2 月 8 日（木）

■ お問い合わせ先：
近畿大学 山元 翔（特集論文研究会担当委員）
E-mail：yamamoto [at] info.kindai.ac.jp（[at]の部分を半角の「@」に変えて下さい）



2023 年度学生研究発表会開催案内（最終報）

担当者：人材育成委員会

今年度も学生研究発表会を下記の通り開催します。

開催地区	開催日・開催形式および地区担当者・実行委員長・連絡先等
北海道	2024 年 2 月 29 日（木） 開催形式：ハイブリッド（公立千歳科学技術大学及び Zoom） ポスター発表無し 山本 裕一（北海道大学）・ sierra@iic.hokudai.ac.jp
北信越	2024 年 3 月 6 日（水） 開催形式：対面（大学コンソーシアム富山）・ポスター発表なし 本吉 達郎（富山県立大学）・ hse-submit@jsise.org 実行委員長：森下 孟（信州大学）
関東	2024 年 2 月 27 日（火）～28 日（水） 開催形式：合宿形式（対面ののみ） ポスター発表無し 会場：大江戸温泉物語 鬼怒川御苑 小島 一晃（帝京大学）・ kanto-sub@jsise.org 実行委員長：辻 靖彦（放送大学）
東海	2024 年 2 月 20 日（火） 開催形式：オンラインのみ（Zoom）・ポスター発表無し 野崎 浩成（愛知教育大学）・ nozaki@aeu.ac.jp
関西	2024 年 2 月 29 日（木） 開催形式：現地開催（東大阪市花園ラグビー場：東大阪市松原南 1 丁目 1-1） 開催方法：口頭発表及びポスター発表 河野 稔（兵庫大学）・ kawano@hyogo-dai.ac.jp
中国	2024 年 2 月 23 日（金） 開催形式：現地開催（広島大学東広島キャンパス） 開催方法：口頭発表及び、ポスター・インタラクティブ発表 林 雄介（広島大学）・ hayashi@lel.hiroshima-u.ac.jp
四国	2024 年 3 月 13 日（水） 開催形式：ハイブリッド開催（コミュニケーション環境としてメタバースを想定） 開催方法：プレゼンテーションセッションの後、インタラクティブセッション 米谷 雄介（香川大学）・ kometani.yusuke@kagawa-u.ac.jp 実行委員長：岡本 竜（高知大学）

九州・沖縄	<p>2024年2月27日（火）</p> <p>開催形式：2会場ハイブリッド形式（現地会場とオンライン）</p> <p>（九州・沖縄 合同開催）・ポスター発表無し</p> <p>（場所）九州地区 長崎大学（文教キャンパス・ICT 基盤センター セミナールーム）</p> <p>沖縄地区 沖縄国際大学 13号館 308教室</p> <p>九州地区担当：丹羽 量久（長崎大学）・k-niwa@nagasaki-u.ac.jp</p> <p>沖縄地区担当：小渡 悟（沖縄国際大学）・sodo@okiu.ac.jp</p>
-------	---

最新情報は、学会ウェブページにて更新していきます。ご不明な点は、発表希望地区の担当窓口にご確認ください。



「博士論文紹介」の原稿募集について

担当者： 学会誌編集委員会委員長 松浦 健二（徳島大学）

学会誌のコミュニティプラザ「博士論文紹介」は2021年より、各巻のNo. 3（7月1日発行）に集約をし、博士論文の紹介を総覧できる形式へ移行しました。複数の博士号取得者を一同に紹介することで「博士号取得者の研究テーマの動向を読者の皆様が一目で把握できる」「博士号取得者同士が互いを知る機会として、交流を深めるきっかけとなる」などのメリットがうまれることを期待しております。

年1回に集約したことにより、寄稿依頼を年度末前後の3～4月頃とし、本誌や学会のニューズレターなどを通じて、募集を行って参ります。お近くに博士号取得者や、今後学会誌掲載時に博士号取得予定者がいらっしゃいましたら、ご本人または、指導教員の立場によらず、以下の教育システム情報学会誌編集委員会担当委員のメールアドレスまで、お気軽に情報提供いただけますと幸いです。

2024年7月1日発行予定となります学会誌Vol. 41, No. 3につきましては、【2024年4月19日(金)】を原稿締切の予定とし、募集を行ってまいります。

執筆に際しては、博士論文紹介原稿用の執筆要領&原稿テンプレートをご利用ください。原稿および必要事項の提出に関してはGoogleフォームを用いて行うようにいたします。下記URLよりご利用ください。

スケジュール

原稿締切： 2024年4月19日(金)（予定）
学会誌掲載： 学会誌Vol. 41, No. 3, 2024年7月1日発行（予定）

執筆要領および原稿提出

執筆要領&原稿テンプレート：
<https://docs.google.com/uc?export=download&id=1ZQLwCvdBb0RF7YCtXiBLk3rinKqe7Qsc>
原稿提出（Googleフォーム）：
<https://forms.gle/s6apsfhhxetLsvRJ9>

問い合わせ等

問い合わせ先： 教育システム情報学会誌編集委員会 担当委員 林 佑樹（大阪公立大学）
E-mail: hayapy@omu.ac.jp
（「@」の部分は、半角の「@」に変えて下さい）



2025 年度発刊 特集号論文募集

担当者： 学会誌編集委員会委員長 松浦 健二（徳島大学）

エビデンスに基づいた学習者中心の教育・学習支援

論文投稿締切：2024 年 6 月 1 日（土）（予定）

2025 年 4 月 1 日 発行（予定）

2020 年 3 月から感染が拡大した新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの教育機関で遠隔・オンライン教育が実施されました。同時に、学習管理システム（LMS）や e ポートフォリオの利用が進み、講義資料の閲覧履歴や小テストの解答履歴、レポート等の成果物に加え、講義中の映像や発話情報などのマルチモーダルな教育・学習データも蓄積されるようになりました。また、近年では、学習中の生体情報も比較的容易に取得できるようになり、これらの多種多様かつ膨大な教育・学習データを LRS (Learning Record Store) で一元管理し、学習者のために活用しようとする機運が高まっています。そこで、本特集号では、教育や学習の過程で収集されたデータを利用した学習者中心の教育・学習の支援に関する先進的な取り組みに関する論文を広く募集します。

1. 対象分野

学習記録データ等の収集、蓄積、分析、可視化に関する技術、学習記録データ等の分析結果に基づいた教育・学習の実践に関する研究、生体情報を教育・学習支援に応用した研究等を広く募集します。

2. 論文種別

すべての種別（一般論文、実践論文、ショートノート、実践速報）の論文を募集いたします。なお、査読を通して、異なる種別での採録となる場合があります。また、内容により一般号掲載論文へ変更する場合があります。

3. 投稿要領

教育システム情報学会学会誌原稿執筆要領に準じます。詳細は教育システム情報学会の Web ページで確認してください。投稿に際しては「特集号」であることを明示していただきます。また、特集論文研究会（2024 年 3 月中旬開催予定）で発表を行った方は、特集論文研究会での発表題目と発表番号も明示いただく予定としております。

4. スケジュール

- 論文投稿締切： 2024年6月1日(土) 【予定】
採録通知予定： 2024年12月初旬まで 【予定】
学会誌 掲載： 学会誌Vol. 42, No. 2, 2025年4月1日発行 【予定】

本特集号と同一テーマの研究会「特集論文研究会」を開催します。是非、ご発表・ご参加ください。
詳細は、今後の最新の開催案内(<https://www.jsise.org/society/committee.html>)をご覧ください。

5. 特集号編集委員会

- 委員長： 松浦 健二(徳島大学)
副委員長： 後藤田 中(香川大学)
筆頭幹事： 高木 正則(電気通信大学)
幹 事： 近藤 伸彦(東京都立大学)， 山元 翔(近畿大学)，
林 佑樹(大阪公立大学)， 山崎 治(千葉工業大学)
幹事補佐： 太田 光一(北陸先端科学技術大学院大学)，
吉原 和明(近畿大学)
委 員： 学会誌編集委員

6. 問い合わせ

- 全 般： 山元翔(近畿大学) E-mail: yamamoto [at] info.kindai.ac.jp
([at]の部分を半角の「@」に変えて下さい)



Information and Technology in Education and Learning (ITEL)

論文募集 [<https://www.j-itel.org>]

日本教育工学会 (JSET) との合同英文誌 ITEL (Information and Technology in Education and Learning, <https://www.j-itel.org>) への掲載原稿を募集しています。この ITEL では、我が国における教育工学・教育システム情報学の国際的な発信力を強化するとともに、国際的な共同研究・研究交流のプラットフォームになることを目指しています。研究対象は、教育システム情報に関連した領域全般はもちろん、様々な教授学習場面のための方法・技術に関する基礎研究・開発研究・実践研究等も含まれます。ITEL は、J-STAGE をプラットフォームとしたオープンアクセスジャーナルです (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/itel/list/-char/ja>)。投稿後、原則、7 か月以内に 2 回の査読が終了するように配慮しています。短期間で、革新的な研究成果、ユニークな実践等を世界に向けて発信するために活用していただければ幸いです。学位取得を目指されている方や留学生のみなさんからのご投稿もお待ちしております。

- 論文種別： 一般論文 (Regular Paper, 基本 8 ページ) ,
実践論文 (Practice Paper, 基本 8 ページ) ,
システム開発論文 (Development Paper, 基本 8 ページ) ,
ショート論文 (Short Paper, 基本 4 ページで最長 6 ページまで)
<これまでのショートノート (Short Note) と実践速報 (Report on Practice) を含みます>
- 投稿締切：1 年中投稿を受け付けています。
- 投稿要件：
 - 論文は他学会において査読中でないこと、そして、その主要部分が未発表であること。ただし、国際会議、学会の大会、研究会等で口頭発表した内容をまとめたものは投稿することができます。
 - 投稿者は本会会員である必要はありませんが、本会会員あるいは JSET 会員である場合には掲載料に会員の価格が適用されます。投稿者が 2 名以上の連名の場合は、そのうち少なくとも 1 名が会員であれば、掲載料に会員価格が適用されます。
- 原稿執筆要領：ITEL Web サイトに、執筆要領 (Author Guidelines) 等がアップされています。
- 投稿方法：< [ITEL 電子投稿システム] https://iap-jp.org/j-itel/journal_e/ >
 - ITEL Web サイト上から、電子投稿システムにログインして投稿を行って下さい。
 - 初めて電子投稿システムを利用する場合は、まず利用者用 ID の発行手続きを行って下さい。
 - 投稿論文は、論文執筆用テンプレートファイルを用いて PDF ファイルに出力して提出して下さい。
 - 投稿論文は、投稿前にできるだけ英文校正 (Proofreading) を受け、証明書提出を推奨しています。
- 査読方法：
 - 投稿論文の査読は、JSiSE 英文誌と同様に、シングルブラインド制で行われます。
 - 査読者は 2 名で、査読回数は 2 回となります (著者照会は 1 回のみ)。
 - 評価項目は、Originality (新規性)、Usefulness (有用性)、Reliability (信頼性)、Presentation (明瞭性) の 4 項目となり、JSiSE 英文誌と異なり、査読中に投稿論文の種別変更はありません。
 - 投稿者の希望に基づき、JSiSE 英文誌と同様、日本語で査読コメントを受けることもできます。

Editorial	<p>Preface to Volume 3: The Potential of One Tablet Per Student for Supporting Individualized Learning and Collaborative Learning Hiroaki Ogata, Hidenobu Kunichika</p>
Invited Paper	<p>AI in Education and Learning Analytics in Singapore: An Overview of Key Projects and Initiatives : Alwyn Vwen Yen Lee, Elizabeth Koh, Chee Kit Looi</p>
	<p>AI and Big Data in Education: Learning Patterns Identification and Intervention Leads to Performance Enhancement Stephen J.H. Yang, Chien-Chang Lin, Anna Y.Q. Huang, Owen H.T. Lu, Chia-Chen Hou, Hiroaki Ogata</p>
	<p>A Review of the ICT Environment for Customized Learning Among Elementary and Secondary School Students in South Korea: Focusing on the One PC per Student Initiative Kyubok Cho</p> <p>A Perspective from Educational Technology Research Trends in Individualization of Learning in Elementary and Secondary Education in Japan Tatsuya Horita, Toru Nagahama</p>
Regular Paper	<p>Text Mining Analyses of Programming Education Articles Since the 1970s Takahisa Furuta, Gerald Knezek</p>
	<p>Examinee Authentication Using Multiple Types of Touch Gestures for Proxy Detection in Online Examinations Shoko Yasuda, Hiroyuki Ogata</p>
	<p>Supporting Reflective Teaching Workflow with Real-World Data and Learning Analytics Hiroyuki Kuromiya, Taro Nakanishi, Izumi Horikoshi, Rwitajit Majumdar, Hiroaki Ogata</p>
Short Paper	<p>Students' Learning Strategies: Effects of Open-Ended Questions and Class-Preparation Assignments Were Provided in Advance Rumi Matsushima, Hitomi Ozaki</p>

	<p>Relations Between Participation in Peer Review and Learning Outcomes in Online Learning Huazhe Sha, Mayumi Sugiura, Tomohiro Nagashima, Katsusuke Shigeta</p>
	<p>Effects of Class Orientation on Sense of Fulfillment and Self-Growth at the University Level: Mediated by Academic Engagement Rumi Matsushima, Hitomi Ozaki</p>
Translation	<p>Actual Conditions of Work-Life Balance and Required Supports of Improvement of Work Environment on Faculty Members Yukari Fuchigami, Naho Sugita</p>
	<p>Artificial Intelligence Education in an Elementary School and Its Evaluation by Career Development, Motivation and Rubrics Yuto Omae, Tatsuro Furuya, Masaya Matsushita, Kazutaka Mizukoshi, Kazuhiro Yatsushiro, Hirotaka Takahashi</p>
	<p>A Recommendation-type Dialogue System Responding to Potential Requests in Consideration of Personal Attributes Yosuke Seki, Yoshihiko Ueno</p>
	<p>A Study on AR Materials and Teaching Methods to Support the Clarification of Students' Naive Conceptions of Electric Current and Transformation into Scientific Conceptions Hiroyoshi Kinoshita, Yasuhiro Iwasaki</p>
	<p>An Educational Practice to Support Pupils' Task Settings of Independent Research: Effects on Pupils' Self-Evaluation and Awareness of Inquiry Skills Tatsushi Fukaya, Daisuke Mito</p>
	<p>Evaluation of the Level of Achievement and Issues in Gerontological Nursing Practice During COVID-19 Yuko Kawakami, Yasunori Nakamura, Ayako Matsuo, Atsuko Emoto</p>
	<p>Conceptualization and Generalization of an Integrated Lesson in Elementary Social Studies and Its Effects on the Use of Learning Strategies Tatsuya Kato, Takeshi Machi</p>



第5回研究会開催報告

担当者： 鷹野孝典（神奈川工科大学）、佐々木整（拓殖大学）、三石大（東北大学）、
高木正則（電気通信大学）、光原弘幸（徳島大学）

■ テーマ：教育 DX と実世界指向学習環境／一般

■ 開催日：2024 年 1 月 20 日（土）

■ 開催会場：拓殖大学 文京キャンパス

■ 概要：

2023 年度第 5 回研究会は、2024 年 1 月 20 日（土）に「教育 DX と実世界指向学習環境／一般」をテーマに開催いたしました。本研究会のテーマである“教育 DX”や“実世界指向学習環境”に関するシステム開発や実践等の様々な研究について計 14 件（体調不良による発表キャンセル 1 件）の発表がなされました。メタバース、人工知能等の先端技術の活用やアクティブラーニングの導入等による創意工夫に富んだ学習・教授法に関する研究成果が共有され、全国から 40 名の参加のもと非常に活発な討論が行われました。最後に、発表者や参加者の皆様のご協力により円滑に研究会を進行することができました。この場を借りて担当委員より御礼申し上げます。ありがとうございました。

■ 発表タイトル一覧：

- 大学初年次日本語科目における自律学習支援のケーススタディー：チャットボット利用による授業外リフレクションと授業内活動の統合
- 学習者の理解度を時系列把握した Python 教育
- BYOD を前提とした初学者向けの Python によるデータ分析環境の構築と実践
- ChatGPT を搭載したアバターを用いた英会話システムの評価
- 楽曲生成 AI の活用による英文歌を取り入れた英語授業デザイン
- 脳波データとテスト結果からみる英語個別指導時における教育効果の検証
- メタバース内避難訓練システムの開発
- AR 技術を利用した幼児対象食育教材ソフトウェアの活用について（その 2）
- プロジェクト型学習支援ロールプレイ教材の実証試験結果-プロジェクト全体像把握と不安のサポート訓練-
- ゆる HIIT による運動習慣の確立と健康意識の向上を目的とした LINE チャットボットの開発
- 介護業界への ICT 導入における可能性と課題
- SNS 広告に対する意識調査と今後の展望
- 新任教員インタビューにみる PBL 科目で直面する課題および独自の工夫点 -PBL 授業支援システムの開発に向けて-
- 義務教育期間のタブレット導入について（体調不良による発表キャンセル）
- 企業連携による YouTube 動画制作を主とした PBL 型授業の実践と課題



研究会報告年間購読の申し込みについて

研究会報告は、2016年度からは印刷媒体での研究会報告は廃止し、オンライン上でタイムリーかつオンデマンドな閲覧が可能となるように、研究会報告を電子化しています。保管などの手間もなく、大変便利に活用できるようになっております。

是非、研究会報告の「年間購読」のお申し込みをご検討いただければ幸いです。研究会当日も電子媒体として販売する予定ですが、年間購読がお得になっております。

- ・年間購読:4,000円（定例研究会年6回，特集研究会1回，計7回分を含む）
- ・当日販売:1冊1,000円

新規での「年間購読」申込みにつきましては、年会費をお支払いいただく前に会員種別変更申込をお願いします。以下の手順でお申し込みください。すでに年間購読をいただいている方は手続き不要です。

- 1) 年会費納入手続きの前に、下記フォームにて事務局（secretariat@jsise.org）まで年間購読申込をしてください。

=====
※研究会報告年間購読希望
会員番号（お分かりであれば）：
お名前：
所属：
連絡先 e メールアドレス：
=====

- 2) 手続き終了後、事務局より会員種別変更完了のご連絡を差し上げます。
- 3) マイページから年会費と合わせて年間購読費をお支払いください。

※年会費納入後に「年間購読」を申込みご希望の場合は、事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。年間購読の請求書をお送りし、会員種別変更の手続きを進めさせていただきます。

広報からのお知らせ



Web サイトがリニューアルされました

2023年1月23日に、JSiSEのWebサイトがリニューアルされました。従来よりも見やすく、操作も分かりやすくなっています。新しくなったWebサイトをぜひご覧ください。

また、何かお気づきの点があれば、遠慮なく学会事務局までお問い合わせください。



X (Twitter) アカウントの紹介

2016年8月下旬より、全国大会開催に合わせて学会の公式 X (Twitter) アカウントを開設しました。本アカウントは原則として当学会の広報を目的とした配信専用としております。本学会へのご質問・お問い合わせは、学会事務局 (secretariat@jsise.org) へお願いします。

<https://twitter.com/JsisePr>

◇ 2024年1月29日現在、フォロワー数 270 アカウント



Facebook ページもご覧ください

教育システム情報学会の公式 Facebook ページを運用しています。本ページでは、論文・発表募集や本学会に関連するイベントの情報などをお届けしています。ぜひ、ご覧下さい。

Facebook ユーザの方は、ぜひ、「いいね」をお願いいたします。

<https://www.facebook.com/jsise.org/>

◇ 2024年1月29日現在、いいね 598 件、648 人フォロー

X (Twitter)、Facebook への情報掲載の依頼などは学会事務局 (secretariat@jsise.org) までお問い合わせください。



他団体 協賛・後援イベントのお知らせ

協賛：「デジタル社会創造研究部門シンポジウム」

日時：2024年2月22日（木）13時00分～16時00分

会場：伊都キャンパス 稲盛財団記念館稲盛ホール（ハイブリッド開催）

協賛：「UeLA フォーラム及び JADE & UeLA 合同フォーラム 2023」

日時：2024年2月28（水）・29（木）

会場：公立千歳科学技術大学



国際会議のご案内

- 2024年3月開催

ICIET 2024 (12th International Conference on Information and Education Technology)

開催期間 : March 18-20, 2024

開催地 : Shimonoseki, Yamaguchi

URL: <http://www.iciet.org/>

投稿締切: October 20, 2023

LAK 2024 (The 14th International Learning Analytics and Knowledge Conference)

開催期間 : March 18-22, 2024

開催地 : Kyoto, Kyoto

URL: <https://www.solaresearch.org/events/lak/lak24/>

投稿締切: October 2, 2023

SITE 2024 (35th annual conference of the Society for Information Technology and Teacher Education)

開催期間 : March 25-29, 2024

開催地 : Las Vegas

URL: <https://site.aace.org/conf/>

投稿締切: November 3, 2023



会費納入のお願い

学会の運営は皆様の年会費で支えられております。今年度の年会費が未納の方はご入金をお願いいたします。なお、10月以降に年会費が未納の場合、学会誌の送付が一時休止されます。入金確認後、入金日の翌月末までに今年度内の未送付分も合わせて学会誌の送付を再開いたします。3月末までに入金を確認できない場合は、未送付分の学会誌はお送りできなくなりますので、お早めにお手続きをお願いいたします。

URL <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページのURLは、会員情報管理システムの業務委託をしている株式会社国際文献社のものです。

- 「銀行振込」をご希望の方は、下記のいずれかの口座へお振込みをお願いいたします。

■振込先

◆ゆうちょ銀行

口座記号番号：00180-6-709632

加入者名：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガックイ

※他金融機関からゆうちょ銀行に振込む場合

銀行名：ゆうちょ銀行（金融機関コード：9900）

店名：〇一九 店（ゼロイチキョウ店） 預金種別：当座 口座番号：0709632

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガックイ

◆三菱UFJ銀行（金融機関コード：0005）

店名：上新庄支店（カミシンジョウ支店）

預金種別：普通 口座番号：0142708

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガックイ

◆みずほ銀行（金融機関コード：0001）

店名：茨木 支店（イバラキ支店）

預金種別：普通 口座番号：1399483

名義：一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ：シャ)キョウイクシステムジョウホウガックイ

- 請求書・領収書（支払い後）は、マイページでオンライン発行できます。
- 請求書・領収書の郵送をご希望の方は、事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。

※団体名でお振込みいただきますと、個人を特定できない場合がございますので、振込名に会員番号またはお名前をご入力いただくか、難しい場合は、振込内容を事務局までご連絡いただければ幸いです。
※所属が変わった方は、マイページにログインした際に、連絡先などを変更するようお願いいたします。

【過年度年会費を支払われていない方へ】

マイページでは、全ての年度の未納金額を合算した金額が請求されます。先に本年度以前の分のお支払いを希望される方は、先に郵送された払込用紙付請求書をご利用になるか、学会事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡下さい。

※会費のお支払いが確認できない場合、学会からの送付物を停止させていただく場合があります。また、会員資格停止の手続きを進めさせていただく場合があります。

ご不明な点は、事務局（secretariat@jsise.org）までお問合せ下さい。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
Tel:03-6824-9376 Fax:03-5227-8631 Email : secretariat@jsise.org



事務局より



会員専用ページのご案内

URL : <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしております株式会社国際文献社のものです。

■会員専用ページでは、以下のことができます。

1. 会員個人ページでの、現在の登録情報の確認・変更
2. 年会費納入状況の確認
3. 会費の納入、クレジット/コンビニ決済
4. パスワードの変更

会員種別、フリガナ、研究報告年間購読の登録等はマイページでは変更できませんので、お手数ですが JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡をお願い致します。

ログインには、ID とパスワードが必要です。

パスワードをお忘れになった場合は、上記ウェブサイトにて照会できます。何かご不明な点がございましたら、JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。

今後とも教育システム情報学会の活動にご理解ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



入会のご案内

入会をご希望の方は、下記のサイトよりオンライン入会申込フォームにアクセスしていただき、お申し込みをお願いいたします。

URL : <http://www.jsise.org/admission/index.html>

☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、
入会金を無料にさせて頂くというキャンペーンを行っております。
そちらも、合わせてご案内いただきますようお願いいたします。



新入会員のご紹介

下記の皆様が新しく入会されました。(2023年12月1日～2024年1月25日)

本学会での益々のご活躍を期待しております！

会員名	会員種別	会員名	会員種別
鈴木 大作	正会員	大場 みち子	正会員
桑野 一成	正会員	山田 紀昭	学生会員 (購読)
太田 佐栄子	正会員 (購読)	浅川 友幸	正会員
篠崎 健一	正会員		

(計7名)